

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

商 業

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから7ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）では、教科「商業」の目標について、次のように示されている。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(a) 商業の見方・考え方を働かせ，(b) 実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (c) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

- (1) 下線部（a）「商業の見方・考え方」とは、どのようなことを意味しているか答えよ。
- (2) 下線部（b）「実践的・体験的な学習活動」として、どのような学習活動が考えられるか答えよ。
- (3) 下線部（c）「商業の各分野」を4つ答えよ。

- 2 「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）では、教科「商業」科目「課題研究」の内容とその取扱いについて、次のように示されている。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

2 内容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

- (1) (A)
- (2) (B)
- (3) 産業現場等における実習
- (4) 職業資格の取得

3 内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。

ア 生徒の興味・関心，進路希望等に応じて，〔指導項目〕の(1)から(4)までの中から，個人又はグループで商業の各分野に関する適切な課題を設定し，主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して，専門的な知識，技術などの深化・総合化を図り，ビジネスに関する課題の解決に取り組むことができるようにすること。なお，課題については，(1)から(4)までの2項目以上にまたがるものを設定することができること。

イ 課題研究の成果について (C) する機会を設けるようにすること。

ウ 〔指導項目〕の(4)については，職業資格に関して探究する学習活動を取り入れるよう留意して指導すること。

- (1) 空欄（A）～（C）に当てはまる語句等を答えよ。
- (2) 下線部「職業資格に関して探究する学習活動」として、どのような学習活動が考えられるか答えよ。

- 3 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。なお、計算式を示すこと。
- (1) ある金額の2割6分増しが¥819,000であるとき、ある金額はいくらか答えよ。
 - (2) 1ダースにつき¥6,000のペンを300本仕入れたとき、代価はいくらか答えよ。
 - (3) エアコンを¥178,000で仕入れ、仕入諸掛¥22,000を支払った。仕入原価の25%の利益を見込んで予定売価をつけたが、30%引きで販売した。損失額はいくらか答えよ。
 - (4) \$820は、日本円に換算するといくらか答えよ。ただし、\$1=¥107とする。
- 4 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。
- (1) 海外で企業活動をする際に、それぞれの国の文化や習慣に適切に対応する考え方を何というか答えよ。
 - (2) 真意でないことを自分で知りながら、真意とくい違った意思表示をすることを何というか答えよ。
 - (3) 新製品をできるだけ早く市場にゆきわたらせるため、導入段階から思い切った量産体制を取り、低価格を設定して一挙に大衆市場を獲得しようとする政策を何というか答えよ。
 - (4) 似通ったニーズをもつ顧客の集まりごとに、市場全体をいくつかの部分市場に分割する作業のことを何というか答えよ。
- 5 次の(1)～(6)の文中の(ア)～(コ)に当てはまる語句等を答えなさい。
- (1) 企業がもっている資産の総額から(ア)の総額を差し引いた額を純資産という。
 - (2) 期末資本と期首資本を比較して、当期純損益を計算する方法を(イ)という。
 - (3) 原価要素は、操業度との関連によって、(ウ)費、(エ)費、準(ウ)費、準(エ)費に分類される。
 - (4) ディスプレイ画面上の画素の一つひとつは、RGBの3色で構成されており、これは(オ)の三原色といわれる。なお、RGBのRとは(カ)色のことである。一方、インクジェットプリンタなどのカラープリンタは、(キ)の三原色といわれるCMYに、黒をきれいに表現するためのKを組み合わせて色を表現している。
 - (5) 表計算ソフトウェアでは、用意された関数を利用することにより、複雑な計算式を入力しなくても、いろいろな計算を簡単に行うことができる。例えば、指定した範囲の合計を求めるにはSUM関数、平均を求めるには(ク)関数を使用する。また、現在の日付と時刻を求める(ケ)関数などもある。
 - (6) 通信文書は「前付け」、「本文」、「後付け」の3つの大きな構成要素からなり、文書番号や発信日付は、基本的に3つの構成要素のうち(コ)に記載される。

6 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) A商店は、かねて売掛金のあるB商店あて、当店受け取りの為替手形¥570,000を振り出し、B商店の引き受けを得た。この取引の仕訳をせよ。

(2) 支店は決算の結果、当期純利益¥670,000を計上し、本店はその通知を受けた。この取引の本店の仕訳をせよ。

(3) 次の取引から、5月28日の取引後の売掛金勘定の残高を答えよ（5月10日の取引前の売掛金勘定は借方残高¥150,000である。）。なお、解答欄の（ ）の中に、借方残高の場合は（借）、貸方残高の場合は（貸）と記入すること。

取引

5月10日 C商店に商品¥800,000、D商店に商品¥500,000を売り渡し、代金はそれぞれ掛けとした。

5月13日 D商店から品違いのため¥50,000が返品された。

5月28日 売掛金の回収として、C商店から¥360,000、D商店から¥210,000をそれぞれ現金で受け取った。

(4) E株式会社(決算年1回 12月31日)の次の資料から（ア）～（ウ）に当てはまる金額を答えよ。

資料

- ① 8月25日に、法人税・住民税および事業税の中間申告を行って、前年度の法人税・住民税および事業税額¥860,000の1/2を小切手を振り出して納付した。
- ② 決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額¥900,000を計上した。
- ③ 2月26日に、法人税・住民税および事業税の確定申告を行い、上記未払法人税等を小切手を振り出して納付した。

仮払法人税等

8/25	()	(<u>ア</u>)	12/31	()	(<u> </u>)
------	-----	--------------	-------	-----	-----------------------

法人税等

12/31	()	(<u>イ</u>)	12/31	()	(<u> </u>)
-------	-----	--------------	-------	-----	-----------------------

未払法人税等

12/31	次期繰越	(<u> </u>)	12/31	()	(<u>ウ</u>)
2/26	当座預金	(<u> </u>)	1/ 1	前期繰越	(<u> </u>)

7 標準原価計算を採用しているK製作所の当月における次の資料から、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。ただし、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

資 料

① 標準原価カード

H製品	標準原価カード		
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥300	6 kg	¥1,800
	標準賃率	標準直接作業時間	
直接労務費	¥1,200	2 時間	¥2,400
	標準配賦率	標準直接作業時間	
製造間接費	¥800	2 時間	¥1,600
	製品1個あたりの標準原価		¥5,800

② 生産データ

月初仕掛品	200個(加工進捗度40%)
当月投入	<u>1,000個</u>
合計	1,200個
月末仕掛品	<u>100個</u> (加工進捗度50%)
完成品	<u>1,100個</u>

③ 実際直接材料費

実際単価	¥320
実際消費数量	6,100kg

④ 実際直接労務費

実際賃率	¥1,300
実際直接作業時間	2,200時間

⑤ 製造間接費実際発生額 ¥1,807,000

⑥ 製造間接費予算(公式法変動予算)

変動費率	¥300
固定費予算額	¥1,150,000
基準操業度(直接作業時間)	2,300時間

(1) 次のア～ウの金額を答えよ。なお、イ、ウについては、解答欄の()の中に、不利差異の場合は(不利)、有利差異の場合は(有利)と記入すること。

ア 月末仕掛品の標準原価 イ 材料消費価格差異 ウ 予算差異

(2) 直接労務費差異の分析を説明するための板書例を、分析図を用いて作成せよ。

(3) 操業度差異は¥50,000(不利差異)であった。操業度差異とはどのようなものか説明せよ。

8 次の図1～4は、同じ業種に属するA社、B社、C社の流動比率、自己資本比率、総資本利益率、受取勘定回転率の過去5年間の推移を示したものである。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

図1

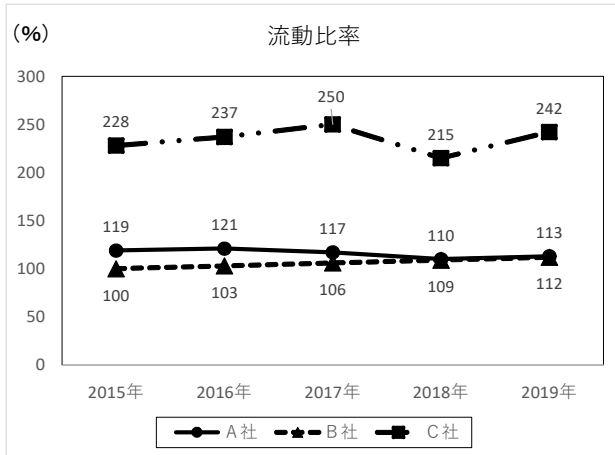


図2

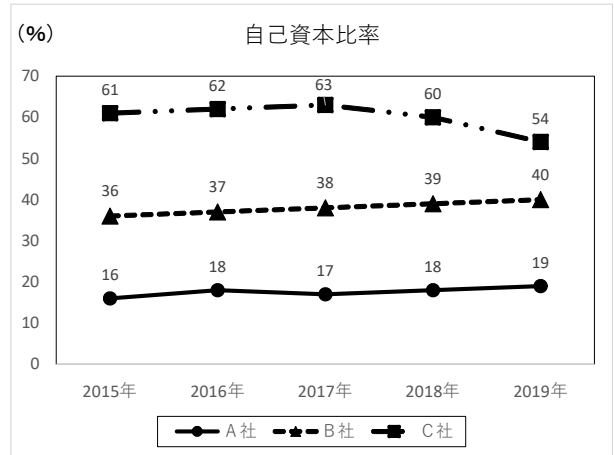


図3

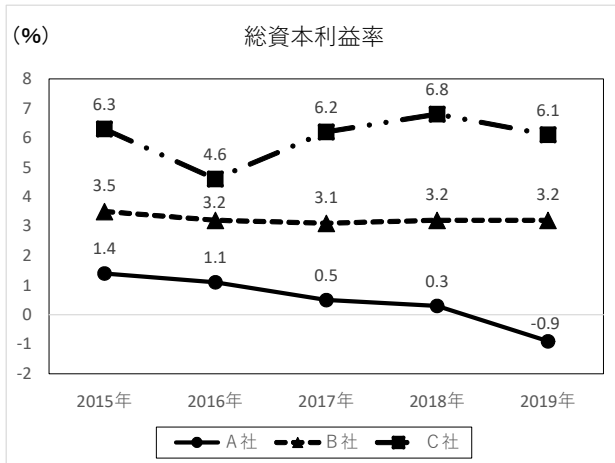
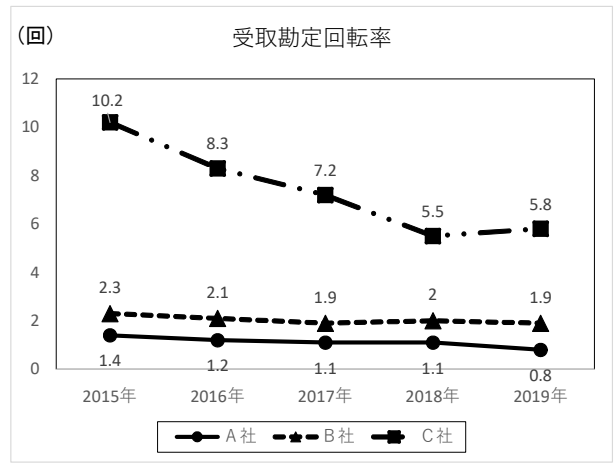


図4



(1) 流動比率とはどのようなものか説明せよ。

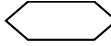
(2) 総資本利益率と受取勘定回転率を求めるための計算式について、(ア)～(ウ)に当てはまる語句を答えよ。

	(ア)	
(式) 総資本利益率	= $\frac{\quad}{\text{総資本}}$	×100 (%)
	(イ)	
(式) 受取勘定回転率	= $\frac{\quad}{\text{受取勘定 (受取手形 + (ウ))}}$	

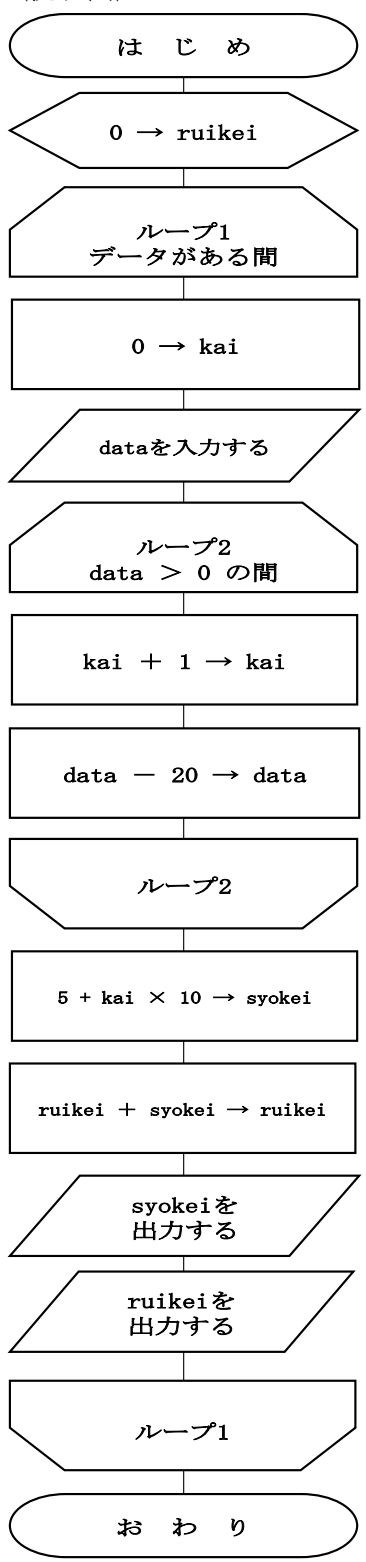
(3) A社、B社、C社のうち、最も経営状態が良くないと思われる企業はどれか、根拠となる比率や数値等を用いて説明せよ。

(4) 国際的に業務を行う銀行の健全性や、競争の公平性の確保を目的としているB I S規制において、規定水準として示されているのは、流動比率、自己資本比率、総資本利益率、受取勘定回転率のうちのいずれか答えよ。

9 下の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。なお、入力する data の値は1以上の整数とする。

- (1) 流れ図で用いられる記号のうち、 の意味を答えよ。
- (2) 1件目に入力される data の値が 70 のとき、ループ2を抜け出た時の data と kai の値はいくつか答えよ。
- (3) 1件目に入力される data の値が 70 で、2件目に入力される data の値が 90 のとき、2件目に出力される syokei と ruikei の値はいくつか答えよ。

〈流れ図〉

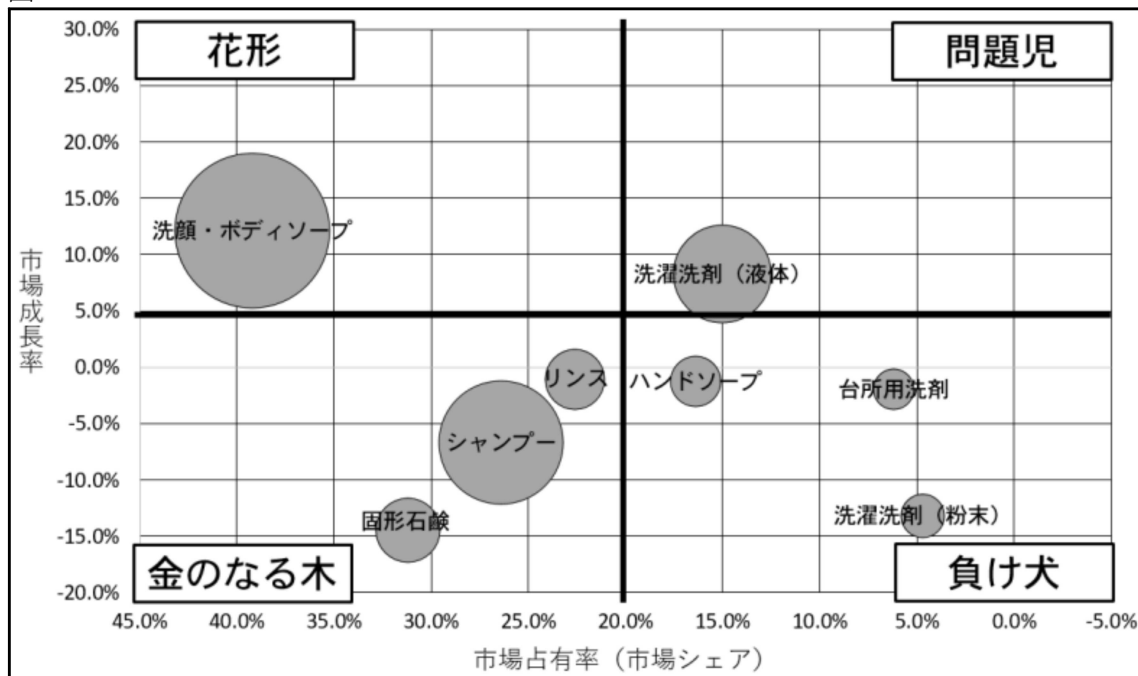


10 次の図1、図2を見て、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

図1

	A	B	C	D	E	F
1						
2	商品別市場占有率等一覧表					
3	(単位：万円)					
4	商品名	市場占有率 (市場シェア)	市場成長率	売上高	構成比	市場規模
5	固形石鹸	31.2%	-14.5%	7,680	6.8%	24,618
6	ハンドソープ	16.4%	-1.2%	4,593	4.0%	28,009
7	洗顔・ボディソープ	39.2%	12.1%	43,286	38.1%	110,426
8	シャンプー	26.4%	-6.7%	27,615	24.3%	104,603
9	リンス	22.6%	-1.0%	6,556	5.8%	29,010
10	洗濯洗剤(粉末)	4.7%	-13.2%	3,436	3.0%	73,113
11	洗濯洗剤(液体)	15.0%	8.3%	17,188	15.1%	114,590
12	台所用洗剤	6.2%	-1.9%	3,121	2.8%	50,352
13			最大	43,286		
14			最小	3,121		

図2



(1) 図1を基に、図2を作成している。①、②について答えよ。

① 図1の「最大」は、「売上高」の最大値を求める。セルD13に設定する式を答えよ。

② 図1の「構成比」は、「売上高」の合計に対する「商品名」ごとの「売上高」の割合を求める。セルE5に設定する式を答えよ。ただし、この式はセルE12までコピーするものとする。

(2) 図2のように、商品の市場でのポジションを明確にするため、一般的に市場占有率（市場シェア）を横軸に、市場成長率を縦軸にとることにより、「花形」、「金のなる木」、「問題児」、「負け犬」の4つのポジションに分類し、商品販売を戦略的に分析するための方法を何とか答えよ。

(3) 「問題児」と「負け犬」に属する商品について、今後どのような経営戦略が考えられるか、理由も含めて述べよ。

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名

(3年)

1	(1)				
	(2)				
	(3)	分野	分野	分野	分野
2	(1)	A	B	C	
	(2)				
3	(1)	〈計算式〉			
		答え 円 _____			
	(2)	〈計算式〉			
		答え 円 _____			
3	(3)	〈計算式〉			
		答え 円 _____			
3	(4)	〈計算式〉			
		答え 円 _____			
4	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
5	ア	イ	ウ	エ	
	オ	カ	キ	ク	
	ケ	コ	※ウ・エは順不同		
6		(借方)		(貸方)	
	(1)				
	(2)	(借方)		(貸方)	
(3)	() 方残高 円 _____		※ () 内には「借」又は「貸」を記入		
(4)	ア	イ	ウ		

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	氏 名	(3年)

※イ・ウの()内には「不利」又は「有利」を記入

7	(1)	ア	¥ _____	イ	¥ _____ ()	ウ	¥ _____ ()
	(2)						
	(3)						
8	(1)						
	(2)	ア		イ		ウ	
	(3)	(社名)	(理由)				
	(4)	社					
9	(1)						
	(2)	dataの値		kaiの値			
	(3)	syokeiの値		ruikeiの値			
10	(1)	①					
	(1)	②					
	(2)						
	(3)						

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	商業 解答用紙	2 枚中の 1	受 験 番 号	氏 名	(3年)
--------	---------	---------	------------------	--------	------

1	(1)	商業の見方・考え方とは、企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けることを意味している。				2点		
	(2)	見通しをもって実験・実習などを行う中で様々な成功と失敗を体験し、その振り返りを通して自己の学びや変容を自覚し、キャリア形成を見据えて学ぶ意欲を高める、産業界関係者などとの対話、生徒同士の討論といった自らの考えを広げ深める、様々な知識、技術などを活用してビジネスに関する具体的な課題の解決策を考案するなどの学習活動。等				2点		
	(3)	マーケティング分野 1点	マネジメント分野 1点	会計分野 1点	ビジネス情報分野 1点			
2	(1)	A	調査, 研究, 実験 1点	B	作品制作 1点	C	発表 1点	
	(2)	商業科に属する科目で学んだ内容に関連した職業資格について、職業資格を取得する意義、職業との関係、職業資格を制度化している目的などを探究するとともに、その一環として職業資格に関連する知識、技術などについて深化・総合化を図る学習活動、職業資格を必要とする職業に関する課題を探究する学習活動。等					2点	
3	(1)	〈計算式〉 $819,000 \div 1.26 = 650,000$				3点		
	(2)	〈計算式〉 $6,000 \div 12 \times 300 = 150,000$				3点		
	(3)	〈計算式〉 $(178,000 + 22,000) \times 1.25 = 250,000$ $250,000 \times (1 - 0.3) = 175,000$ $175,000 - 200,000 = -25,000$				3点		
	(4)	〈計算式〉 $820 \times 107 = 87,740$				3点		
4	(1)	ローカライゼーション 2点		(2)	心裡留保 2点			
	(3)	市場浸透価格政策 (初期低価格政策) 2点		(4)	セグメンテーション 2点			
5	ア	負債 1点	イ	財産法 1点	ウ	固定 1点	エ	変動 1点
	オ	光 1点	カ	赤 1点	キ	色 1点	ク	AVERAGE 1点
	ケ	NOW 1点	コ	前付け 1点	※ウ・エは順不同			
6	(1)	(借方)			(貸方)			
		受取手形 570,000			売掛金 570,000			
	(2)	(借方)			(貸方)			
		支店 670,000			損益 670,000			
(3)	(借)方残高 <u>¥ 830,000</u> 2点			※()内には「借」又は「貸」を記入				
(4)	ア	430,000 1点	イ	900,000 1点	ウ	470,000 1点		

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	氏名	(3 年)
----	---------	---------	------	----	-------

※イ・ウの () 内には「不利」又は「有利」を記入

(1)	ア	¥ 380,000	2点	イ	¥ 122,000	(不利)	2点	ウ	¥ 3,000	(有利)	2点				
7	(2)	<p>製造</p> <table border="1"> <tr> <td>月初仕掛品 完成品換算数量 80個</td> <td>完成品 1,100個</td> </tr> <tr> <td>① 当月投入量 1,070個</td> <td>月末仕掛品 完成品換算数量 50個</td> </tr> </table> <p>1,070個 × 2時間 = 2,140時間</p> <p>標準賃率 実際賃率 実際直接作業時間 ② 賃率差異 = (¥1,200 - ¥1,300) × 2,200時間 = -¥220,000 (不利差異) 標準直接作業時間 実際直接作業時間 標準賃率 ③ 作業時間差異 = (2,140時間 - 2,200時間) × ¥1,200 = -¥72,000 (不利差異) 直接労務費差異 = 標準直接労務費 ¥2,568,000 - 実際直接労務費 ¥2,860,000 = -¥292,000 (不利差異)</p>										月初仕掛品 完成品換算数量 80個	完成品 1,100個	① 当月投入量 1,070個	月末仕掛品 完成品換算数量 50個
	月初仕掛品 完成品換算数量 80個	完成品 1,100個													
	① 当月投入量 1,070個	月末仕掛品 完成品換算数量 50個													
(3)	<p>操業度差異とは、基準操業度と実際操業度を比較して把握される差異であり、生産設備の利用状況の良否を測定するための差異である。</p>														
8	(1)	<p>流動比率とは、1年以内（短期）の支払い能力が十分であるかどうかを判断するのに用いられる比率であり、1年以内に現金化または費用化する流動資産と、1年以内に支払義務のある流動負債とを比べて分析する。</p>													
	(2)	ア	当期純利益	1点	イ	売上高	1点	ウ	売掛金	1点					
	(3)	(社名)	(理由)												
	(3)	A社	<p>A社は、他の2社と比べて総資本利益率が低く、しかも2015年の1.4%から2019年の-0.9%まで年々低下している。また、企業経営の安全性をあらわす自己資本比率も他の2社と比べて低く、2019年は他の2社が54%、40%であるのに対し、A社は19%である。さらに、受取勘定回転率が年々下がっており、売上債権の回収が長引いていることから、経営成績をよく見せかけるために架空の売り上げを計上していることなども疑われる。</p>												
(4)	自己資本比率		1点												
9	(1)	<p>初期値の設定など準備の処理を表す。</p>													
	(2)	dataの値	-10	3点	kaiの値	4	3点								
	(3)	syokeiの値	55	3点	ruikeiの値	100	3点								
10	(1)	①	=MAX (D 5 : D 1 2)								3点				
	(1)	②	=D 5 / SUM (D \$ 5 : D \$ 1 2) 又は =D 5 / SUM (\$ D \$ 5 : \$ D \$ 1 2)								3点				
	(2)	PPM分析		3点											
(3)	<p>「問題児」に属する商品については、シェアは低いが、市場成長率が高く、将来の成長が見込めるため、「花形」へ移行できるように投資を継続する必要がある。 「負け犬」に属する商品については、シェア、市場成長率がともに低いため、投資以上の収益が見込めない状況であれば、縮小や撤退が必要である。</p>														